

学生大使 実施報告書

氏名：安田 孟晃

学部・学科（コース）・学年：

派遣先大学：ベトナム国家農業大学

派遣期間：2週間

1 日本語教室での活動内容

日本人一人に対してベトナム人2人でペアを組み、ベトナム人の日本語能力に合わせて日本語を教えた。それぞれがいかにしてわかりやすい日本語教室に使用か工夫し、回数を重ねるごとに洗練された日本語の授業を行う事ができた。私は初日、日本語についてほとんど知らない生徒を担当していたので「あ、い、う、え、お」表を一緒に作りながら自分でパターン性に気づいてもらうような授業を心掛けた。私の生徒はとても楽しそうに勉強していたので達成感を感じることができた。

初回の日本語教室で学んだこととしては全ての内容を先生側が教えてしまうと学習の面白さが半減してしまうという事を学んだ。生徒側が気付くように先生が誘導していく授業が理想の授業であると思った。

第二回、第三回の日本語教室ではあいうえお表は理解していてある程度単語も知っている人に対しての日本語教室だった。この生徒たちには生徒たちが興味を持っている単語や普段よく使う単語を中心に教えた。興味を持った単語を通してベトナム人の生徒といろいろなことを話すことができ日本語教室を皮切りにベトナム人生徒と仲良くなることができた。

本当はもっと多くの日本語教室を行う予定であったが大規模な台風によって街が倒壊していたため学校が休校になり、大幅に日本語学校の回数が毛津羅れてしまった。

2 日本語教室以外での交流活動

現地の大学生とともに様々な所に行って交流を深めた。レストランやビリヤード、カラオケ、デパートでの買い物を行い、ベトナム人の生活と同じような生活を行った。朝、昼、晩でホテル近くの安価なレストランに行き、ベトナム人と交流しながら食事を行う事ができた。レストランは現地の人たちが衛生的な店を厳選してくれており、食あたりなどには一切ならなかった。また、様々な種類のベトナム人がよく食べているものを食べたので日本の食文化との違いに気づくことができた。観光地を回るよりも貴重な経験をする事ができたと思う。レストランでは座る場所を日本人で固まらないように工夫し自然とベトナム人と交流するような環境づくりを意識した。そのため多くのベトナム人と交流して様々な価値観の人と交流することができた。

ビリヤードでは遊び方を知らなかったのでベトナム人に教えてもらいながら遊んだ。

カラオケでは日本の曲を中心にベトナム人と歌った。ベトナムではドラえもんや名探偵コナンが有名なのでベトナム人も知っている映画の主題歌などを選曲し一緒に歌った。一緒に歌うと親近感を覚えるのかカラオケで心の距離を一気に縮められたと思う。

【学生大使 実施報告書】

デパートでは買い物やゲームセンターに寄りとても楽しい時間を過ごすことができた。日系企業も多数進出しておりレストランでも日本のチェーン店が散見されたのでとても興味深かった。

ベトナム人にも人それぞれ個性があるためとても面白かった。ベトナム人は英語を話せる人と日本語を話す人、母国語しか話せない人など様々な人がいた。ベトナム人の英語能力はかなり高く、英語でコミュニケーションをとって自分の言語化能力がとても乏しいことに気づくことができた。また普段から英語で会話をするのが少ないのでとても負荷がかかった。日本国内で生活する際も工夫して英語で会話できるような環境に身を置こうと思う。

3 参加目標への達成度と努力した内容

普段は自分から他人に話しかけることはないが、ベトナムでは積極的にコミュニケーションを行い、ベトナム人と価値観の共有を行いながら自分の視野を広げることができた。

初対面の人と 24 時間ずっと行動を共にすることも初めてだったので海外交流だけではなく他の面からも多くの事を学ぶことができたと思う。またチームで行動するため明るく積極的に物事に取り組み、ポジティブに物事を進められたと思う。

またベトナムの食文化や生活様式は日本と大きく異なっており、通常では受け入れがたい場面も少量だが存在した。しかしながら「郷に入っては郷に従え」という言葉を思い出しリスペクト精神をもって多くの事を受け入れた。勇気を持って受け入れてみると案外大したことのない物が多く、逆に自分にとって新たな知見を広げさせてくれるようなものばかりだった。

4 プログラムに参加した感想

今回のベトナム人との交流を通して明らかにコミュニケーション能力を向上させることができたと思う。具体的には積極性や共感を意識してコミュニケーションを行う事である。相手と仲良くなりたいという好意を持って接すれば基本的には楽しく会話できるという事を学んだ。また、自分が自覚していないだけで他の能力も向上していると考えられる。自分の価値観や好みのパターン性などだ。

ベトナム国家農業大学の学生たちはとても親切な人が多く、とても楽しい時間を共有できたと思う。最初はなかなか話せなかった人とも 2 週間における毎日の交流によって仲良くなることができた。

ベトナムに行く前は海外に行く価値は大したことないと思っていたが、今回の国際交流を通して海外に行って生活することはとても価値にあるものだと思うようになった。2 週間ととても短い期間ではあったがとても充実した、濃い 2 週間を送ることができたと思う。今回のプログラムを通してまたこのプログラムに参加したいと思うことができた。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

今回の活動を振り返ってベトナム人と日本人との性格の違いを多くのところから学ぶことができ、とても有意義な経験をすることができた。何事にも積極性がとても重要であることをこの 2 週間で強く感じる事ができたと思う。もともとアメリカ国籍を持っているのもあり

【学生大使 実施報告書】

海外で仕事をするを考えていたが、今回の海外派遣を通してより海外で仕事をするモチベーションを上げることができたと思う。また山形大学に留学してくる海外の学生のサポートを行う留学性チューターを後期から行うので今回の経験で学んだことを生かして留学生の立場に立ってサポートを行っていきたい。まだ1年生なので2年、3年でも海外交流に対して積極的に取り組んでいきたいと思う。



【学生大使 実施報告書】

